動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。

瓦ばん！

平成24年4月2日発行　季刊
第19号

発行責任者：根っから地元派　ばん　よしはる
ban-4@ares.eonet.ne.jp

こんにちは、ばんよしはるです。いよいよ春めいてきましたが、朝晩と日中の気温差が大きいので、皆さん体調管理にくれぐれも気をつけてください。

昨年も書かせていただきました、本年も夏のピークを何とか皆の努力で乗り切なければならないようになってきております。これからのエネルギー問題解決については、まだ道筋がついていないのが現状です。
斑鳩町役場では、昨年７・８月度で昨年比約１５％節電することができました。今年に入っても引き続き節電を続けておりますので、庁舎内が少し暗く寒いという印象を来られたときに思われるかもしれませんが、このような事情があるからです。

そして、この３月議会では、平成２４年度予算審査を行いました。
新しい話としては、現在のコミュニティバスの問題点をテーマとした質疑の中で、理事者から平成２５年度を目処にコミュニティバスを見直し、デマンドバスを研究中していることとともに、住民にとって便利な生活の「足」を確保・充実をさせるとの回答がありましたことを、ご報告させていただきます。

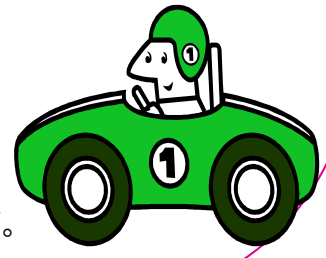
また、可燃物ゴミの業務委託が４月から始まりますが、民間の業者に委託して大丈夫なのか等の質疑とこれからはゴミの排出量が処理金額に反映されることから、町財政とゴミが密接な関係になることから、住民に対しての分別依頼がある以上、ゴミ減量によって削減できた金額とその使い道の情報公開を町に要望いたしました。

これは自分の想いなのですが、全ての人にチャンスが広がっている社会でないと、これからはダメだと思います。
一念発起して起業しようとする人、今の会社をさらに伸ばそうと情熱に燃える人、そういった人々に対して、様々な情報の提供や経済的な支援をすることは、 行政が制度や条例を作ってできることもありますし、既存のインフラをちょっと工夫することで出来ることある、それを実現もするのが政治だと思います。

これからは、皆さんが安心して暮らせるまちづくりを推進するために、多くの住民が行政と関わっていくことが必要になってきます。
今日より、少しでも明日が良くなる「まち」にするために！

町行政と住民の皆さんの想いが一つになり、その想いが強ければ、不可能なことはないはずです。

まちの未来は、住民一人ひとりの想いで変えられるということです。



この「瓦ばん！」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しくお願いいたします。